

ひと

くらし

まち

行財政

2025年の足立区を知る

16の
はなし。

2017年施行「足立区基本計画」を読む

 ADACHI CITY

MESSAGE

平成28年度・29年度に新たに策定した「足立区基本構想」と「基本計画」。

公募の区民委員の皆さんにも加わっていただき、30年後の足立区の目指すべき将来像として「協創力でつくる 活力にあふれ 進化し続ける ひと・まち 足立」を打ち出し、その実現に向けて、ひと・暮らし・まち・行財政の4つの視点から基本的な考え方をまとめました。

とはいっても、「将来、足立区は一体全体どんな街になるの？計画を読んでも具体的な姿が全然見えてこない」とおっしゃられる方々もおられると思います。そこで、基本計画の次の見直し時期にあたる7年後の2025年、「区はこんな風が変わっていますよ」という姿が思い浮かぶようにと作成したのが、この「2025年の足立区を知る16のはなし。」

まちは「変わる」のではなく、「変える」もの。「こんな街に住みたい」「こんな毎日をおくってみたい」というお一人おひとりの思いこそ、街を変えていくエネルギーです。

足立区長 近藤やよい

2025年の足立区を知る16のはなし。

CONTENTS

- 01 足立区の魅力
- 07 足立区基本計画の4つの視点と7つの柱立て

ひと

- 09 1_子どもの学びや成長を見守る
- 11 2_子育て世代を支援する
- 13 3_生涯学習やスポーツ活動の輪を広げる
- 15 4_互いに認めあい、ともに生きる

暮らし

- 17 5_安全・安心な暮らし
- 19 6_地球環境にやさしい暮らし
- 21 7_いつまでも健康で生きがいを持って暮らす
- 23 8_自ずと健康になれる暮らし

まち

- 25 9_地域防災力の強化
- 27 10_道路・交通網の充実
- 29 11_住みたい、住み続けたいまち
- 31 12_活力とにぎわいの創出

行財政

- 33 13_協創力でつくる ひと まち 足立
- 35 14_信頼される区政運営
- 37 15_区の魅力を高める
- 39 16_持続可能な財政運営
- 41 おわりに。協創で足立を変える。

足立区っていいなー。だってね…



わたし、足立区立郷土博物館コレクションの
浮世絵のなかから飛び出してきたの。
足立区を知りつくしたわたしが、
まちの魅力をご案内するわ。

古いものと
新しいもの
mixのまちな。

千住宿の人口 江戸四宿で**最大**

江戸時代から続く祭り

・えんま開き(勝専寺)1月15・16日、7月15・16日
・元祖・西の市(大鷲神社)11月
・じんがんなわ(大乗院)1月
・千住の祭り(千住地域の神社)9月など

松尾芭蕉

葛飾北斎が
足立で描いた絵

2枚

「おくのほそ道」
旅立ちの地 千住

江戸時代の前から市場があったし、江戸
時代には千住宿として栄えていたまち。
昔からの街並みが、今も建物や路地に
残っていて、お寺や神社の祭りや縁日も
つづいているわ。

江戸明治大正昭和平成…

まちのなかに「時間」が感じられて、知れ
ば知るほど深くて、おもしろいの。

このごろは古い建物を使ったおしゃれな
店も増えてるのよ。

古いものが
生きるまち
だから



北千住駅西口駅前

そして
新しいものを
受け入れるまち

昔からモノやヒトが行き交うまちなの。
宿場町があったから、受け入れることに慣
れていて、新しいものや、新しいひとを、素
直に歓迎できる。そのせいか、新しいもの、
新しいひとが、どんどん増えて。
ルミネやマルイ、日暮里・舎人ライナーやつ
くばエクスプレス、5大学…着実に便利に
なってる。
最近では区内で起業するひとも増えてる。
「創業するなら足立区で」っていわれてる
らしいのよ。

北千住マルイの売上げ規模 マルイ 店舗中 **第1位**

TX開通 **2005年**

日暮里・舎人ライナー開通 **2008年**

足立ブランド※認定企業 **53社** (H29年度)

足立区で創業した法人 **821社** (H27年)

※足立ブランドとは？

区内産業の優れた製品・技術を持つ企業に対する認定。

区立公園面積 **23区 NO.1** (2309.324㎡)

荒川放水路の掘削 明治**44年**～昭和**5年**(20年間)

公園数(都立公園含む) **345園** (H29年4月現在)
(23区5位)

花いっぱいコンクール
参加団体 **133団体** (H30年予定)

足立区って、ぐるり川に囲まれている。
東京有数の大河川「荒川」は大正時代に
人の手で掘られた川だけど、それが信じら
れないくらい雄大で区民のこころの故郷。
昔の用水路を活かした小さなせせらぎもた
くさん。川辺の緑はもちろんだけど、広い
都立公園や、23区NO.1の広さを誇る区
立公園、さらには住民が路地に鉢植えをた
くさん育てている。
東京都心にありながら川と緑がたくさん
あって、足立区って、はっきりいって住むな
ら穴場だと思うの。

さらに
川と緑のまち



荒川河川敷



足立市場

それに
食のまち
だもの。

足立区っておいしいものがいっぱいあるでしょ。市場が2つあるから、新鮮なものを食べさせてくれる飲食店が充実。そもそも農業区で、枝豆の生産量は23区2位※、小松菜は3位※。だし「あだち菜うどん」や「千寿ねぎ」などずてきなローカルフードもある。お菓子工場も昔から多かったんですって。足立区の施策でも、野菜を食べようっていう「あだちベジタペライフ」事業や「おいしい給食」事業など食には力を入れてる。ほんと、あだちっておいしいまちよね。

※(平成27年産)

市場の数 **2**

(水産物市場1、青果・花き市場1)

農地面積 23区 **3** 位

(H28年4月現在57.6ha)

長ねぎ専門の卸売市場 **日本唯一**

給食の残菜率

11.5% ▶ **4.2%**

(H20年度) (H28年度)

給食の時間が
楽しい小学生

97%

(H22年度)

ベジタペライフ
協力店数

598

(H30年1月現在)



ギャラクシティの
プラネタリウム

(直径) **1** 位
23区

ギャラクシティ
の入場者数

156万 5,370人
(H28年度)

生物園で
飼育している生きもの

約300 種

ギャラクシティって国内最大級のネット遊具やクライミングウォールまであってすごく楽しいの。金魚の大水槽や南国の蝶が飛び交う大温室がある生物園も穴場。都心の施設と比べて混雑も少ないしリーズナブルなのがうれしいわ。特徴ある公園も多いし、広い荒川の土手も区民の遊び場。花火やマラソンなどのイベントも開催されるわ。面積の広い足立区では、施設も場所も遊びにはこと欠かないの。

遊べるまち
だし。



ギャラクシティ



旧家に残る絵

アートのまち
だから。

まちなかアートイベント「音まち千住の縁」って知ってる？ 1010人の音楽会や、シャボン玉で空間を埋めつくしたり奇想天外。公園とか学校とか、毎年違う場所でアートが見られるんだって。商店街や飲食店などが企画する音楽イベントもたくさん。足立区は昔から吹奏楽の活躍もめざましく、全国大会で金賞の常連校もあるの。それに足立区って、江戸時代からアートのまちで千住の商家の旦那衆が絵師に絵を描かせて飾ったんですって。

千住の1010人
演奏者参加数

1,010 人

メモリアルリバース
千住シャボン玉数

約 **10,000** 個/分

郷土博物館所蔵の
オープンデータ

浮世絵や江戸絵画など
約 **2,200** 点



おいしくて
たのしい
まちなの。

歴史もあって新しいものもあって、緑が多いし、食が豊かだし、文化も遊びもたくさん。暮らしていて幸せを感じるまちね。それにね...



生涯学習センターの他に、エリアごとに地域学習センターが13、図書館も15あるから、小さいころからよく通ったわ。野球場、体育館ほかスポーツ施設も多い。大学は5校あるの。公開講座もあるし放送大学もあるから、いくつになっても学べる機会が多い。地域グループが催す講座や勉強会もいろいろある。子どもはギャラクシティの科学講座や工作教室にもよく参加するわ。学ぶチャンスが多いまちね、足立って。

地域学習センター数

13センター

生涯学習センター数

1センター

図書館数

15館 (23区3位)

野球場数

9カ所30面

図書館蔵書数 1,578,415冊 (23区5位/H28年)

大学数 5校 (2021年6校予定)

区内大学の学生数 14,144人 (H29年5月現在)

足立区に乗り入れる7路線

JR常磐線/東京メトロ千代田線/日比谷線/東武スカイツリーライン(東京メトロ半蔵門線直通)/つくばエクスプレス/京成本線/日暮里・舎人ライナー

商店街数

81 (H30年1月)

コミュニティバス
はるかぜ路線数

12

銭湯数

34 (23区3位)

ふだんの買い物が
便利と思う区民

74.7%
(H28年)

北千住駅には5路線が乗り入れていて便利。以前は千住以外はちょっと交通の便が悪かったけど、今は日暮里・舎人ライナーやつくばエクスプレスが開通。コミュニティバスはるかぜも走って、区内どこでも交通の便はそこそこいいわ。便利なのに東京西部に比べ家賃や物価が安いわって噂も本当。坂がないから自転車でも車椅子でもどこでも行きやすく、商店街もたくさんあって買いものも便利。治安もいいわ。近所の人もほどよくおせっかいで、なんだか落ち着く。ついでに銭湯も多いのよ。

暮らしやすい
まち だもの。



そんないいまち足立区をもっともっといいまちにする計画をつくったんですって。



ね。ね。
足立区っていいでしょ？

そして、もっともっといいまちにするために、考えてつくったのが「足立区基本計画」なの。

「足立区に住んでよかった」
「足立区にずっと住みたい」…

みんながそう思える足立区を目指して。
思いを夢に終わらせず、実現させるために、
つくった計画を、
次のページから紹介します。

01～06ページの浮世絵
足立区立郷土博物館コレクションより
江戸自慢三十六興(歌川豊国三代、歌川広重二代画)

足立区基本計画とは

区の30年後を見据え「協創(きょうそう)」をキーワードに平成28年10月に策定されたのが「足立区基本構想」。そこに示された将来像実現のために、具体的な施策を「足立区基本計画」として、体系的に定めた。計画期間は2017年度(平成29年度)から2024年度までの8年間。2020年度に中間の見直しを行う。

足立区基本計画の4つの視点と7つの柱立て

視点

柱立て

施策群

ひと

自己肯定感を持ち
生き抜く力を備えた人

自ら考え行動し
その成果を地域に活かす人

09 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む

11 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える

13 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動を実践できる仕組みをつくる

15 多様な個性やライフスタイルを認めあう風土を醸成する

視点

柱立て

施策群

まち

地域の個性を活かした
都市基盤が整備されたまち

活力とにぎわいの
あるまち

25 災害に強いまちをつくる

27 便利で快適な道路・交通網をつくる

29 地域の特性を活かしたまちづくりを進める

31 地域経済の活性化を進める

視点

柱立て

施策群

くらし

地域とともに築く
安全なくらし

いつまでも健康で
住み続けられる安心なくらし

17 区民の命や財産を守り、くらしの安全を確保する

19 環境負荷が少ないくらしを実現する

21 高齢者、障がい者などの生活のサポート体制を充実する

23 健康寿命の延伸を実現する

視点

柱立て

施策群

行財政

区民の活躍とまちの活力を支える行財政

33 多様な主体による協働・協創を進める

35 戦略的かつ効果的な行政運営と情報発信を行う

37 区のイメージを高め、定住者や来街者をふやす

39 次世代につなげる健全な財政運営を行う

施策群とは

足立区基本計画は、4つの視点、7つの柱立て、16の施策群により体系的に施策を整理しています。施策とは、足立区が目指す将来像を実現するための方策です。施策群は、複数の施策を、その性質の類似性によって束ねたものです。

子どもの学びや成長を見守る

家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む

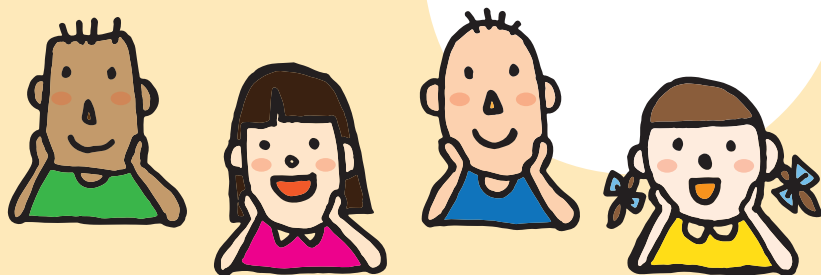
2025年の足立区。

応援されると、頑張る気持ちが生まれます。家庭で、地域で、学校で、大人たちに見守られながら、いろいろなことに挑戦する経験をたくさん積み重ねた子どもたちが育っています。

2025 image

**つまづきそうになっても、つまづいても大丈夫。
その経験が「生きる力のある子」を育てる。**

毎日が楽しい。苦手な科目もあるけど、
わからないときは先生や友だちが教えてくれる。
むずかしいことだって、がんばればできる。
先月のサッカー大会では、
みんなで声をかけあってゴールを目指した。
おしくも優勝は逃したけれど、力いっぱいがんばった。
負けたけど、楽しかったって思う。
次の試合に向かってもっと練習しよう。
いつも、目標に向かって、夢に向かって、一步一步。



ひとりでもできるよ！

「基本的な生活習慣が身についている小学1年生」

[2016年度] データなし ➡ [2020年度] 80% ➡ [2024年度] **80%**

やればできる！

「自分には良いところがあると感じている児童・生徒」

[2016年度] 67.9% ➡ [2020年度] 68.5% ➡ [2024年度] **70%**

足立区の施策

- 保育園、幼稚園等の就学前施設において、質の高い教育・保育を提供するため、保育者等の研修を充実させるとともに、家庭と連携し、早寝・早起きの生活リズムやあいさつ、身の回りの整理などの基本的な生活習慣の習得に向けた取組みを進めます。
- 教員の授業力・指導力向上、誰でもわかる授業づくりや個に応じた指導の強化などの取組みにより、児童・生徒の確かな学力の定着を図ります。
- 社会と関わる力を育むため、地域行事への参加や区内大学での体験活動等の場を提供していきます。
- 不登校の児童・生徒の成長過程や状況に応じた多様な支援を提供していくとともに、適切な初期対応が図れる体制づくりを進めます。

施策を実現するための主な事業

- 幼児教育推進事業・家庭教育推進事務
- 学力向上対策推進事業（小・中学校の基礎学力対策、教員の授業力向上）
- 自然教室事業・体験学習推進事業
- 不登校対策支援事業

子育て世代を支援する

妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える

2025年の足立区。

妊産婦支援が充実し、安心して妊娠、出産できるしくみができています。出産後も、保護者の多様なライフスタイルに応じた様々なサービスが整い、育児の楽しさを家族や地域でわかちあっています。

2025 image

子育てって楽しい! と思えるまち。 家族の笑顔があふれるまち。

働きながらの妊娠、不安。でも、すぐに保健師さんに相談できた。
マタニティブルーに陥りそうになったとき、
育児休暇中、何をやっても泣き続ける赤ちゃんを前に
自分が泣きたくなったとき、
いつもやさしく保健師さんが話を聞いてくれた。
「完ぺきな親なんていないよ。もっと力を抜いて」
と声をかけてくれる人がいた。
「無理しないで。一時預かりを使ってみたら？」
と自分に合う制度を教えてくれる人もいた。
このまちにいたから何とかやってこられた。
このごろよく笑うようになったこの子と
一緒にわたしもよく笑うようになった気がする。



子育てサロン

母子ともに健康。

「早期（37週未満）に産まれた子どもの割合」

[2015年度] 6.0% → [2020年度] 5.4% → [2024年度] 5.3%
(低減目標)

保育施設の待機児ゼロへ。

「保育施設への入園を待つ待機児」

[2015年度] 2.4% → [2020年度] 0% → [2024年度] 0%
(低減目標)

仲間同士で楽しく子育て。

「子育てサロン利用者数」

[2015年度] 413,731人 → [2019年度] 440,000人
(足立区子ども・子育て支援事業計画)

足立区の施策

- 妊娠、出産、子育て期まで、保健師の訪問等による適切な支援を継続して行うことで、養育困難や児童虐待を未然に防ぎます。
- 保健センターでの乳幼児健康診査やファミリー学級、子育てサロン等、子育ての仲間づくりや、身近で安心して相談できる環境を整えます。
- 保護者の家庭や仕事の状況に応じて子どもを預けることができる多様な保育サービスを整備します。
- 学童保育室の定員増とともに、児童館の活用や放課後子ども教室と連携を図り、安全・安心な子どもの居場所づくりを進めます。

施策を実現するための主な事業

- 待機児童解消の推進
- あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト（ASMAP）の推進事業（妊産婦支援事業、こんにちは赤ちゃん訪問事業、3～4か月児健診事業）
- 子育てサロン事業

生涯学習やスポーツ活動の輪を広げる

生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動を実践できる仕組みをつくる

2025年の足立区。

スポーツや音楽、伝統芸能やサークル活動などを気軽に楽しむ環境が整い、区民の交流が広がっています。自分が楽しむだけでなく、楽しさを伝え、広める区民が増え、地域コミュニティの輪が広がっています。

2025 image

いつでも、どこでも学びがある。
いつでも、どこでもスポーツがある。

今日は荒川土手でランニング。

昨日は地域学習センターでサークル活動のあと、
トレーニングルームで筋トレ。

先週行った西新井文化ホールの
伝統芸能のイベントも良かった。

足立区は、どこの地域にも“楽しい”がたくさんある。

最近トレーニングルームでよく会うメンバーと意気投合し、
一緒にまち歩きをするようになった。

まちは知れば知るほどおもしろくて、

最近3人でまち歩きグループをつくった。

毎日が充実している。



地域団体の活動

身近にアート。いつでもアート。

「区内で音楽・歴史・アートなどの文化に親しむ区民」

[2015年度] データなし ➡ [2020年度] 10% ➡ [2024年度] 15%

◎区内の文化施設や催しで、音楽や美術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会を持った区民の割合

身近にスポーツ。いつでもスポーツ。

「スポーツを定期的に楽しむ区民」

[2015年度] 53% ➡ [2020年度] 62% ➡ [2024年度] 70%

足立区の施策

- シアター 1010 や西新井文化ホールをはじめとした文化施設で、より多くの区民が演劇・音楽などに触れ親しむ機会をつくれます。
- 子どもたちが体験学習を通じて、伝統文化への理解を深めることを応援します。
- 学習センターの講座を通して知り合った仲間が、地域で活躍し、新しい仲間を増やすことのできる場や機会をつくれます。
- 地域の身近な施設や公園で、運動・スポーツへの関心を高めるための機会をつくれます（パークで筋トレなど）。

施策を実現するための主な事業

- 文化・読書・スポーツ活動協創推進事業

互いに認めあい、ともに生きる

多様な個性やライフスタイルを認めあう風土を醸成する

2025年の足立区。

お互いの「違い」を認めあい、「思いやりのこころ」を持ち、「こころづかい」ができる区民があふれ、誰もが個性や能力を活かしていきいきと活躍しています。

2025 image

性別にとらわれない。障がいのある人もない人も。
私と違うこと、それがあなたの魅力。

私の職場に障がいのある同僚がいる。

彼から学んだことは多い。

杖をついて揺れる電車で立っているのはつらいということ。

でも、思っていたよりずっと早く歩いたり

階段を昇り降りできること。気が合うのでよく飲みにも行く。

今の職場は、男性が多い。

でも、職場の女性たちはとてもパワフルで、

すごいアイデアをバンバン出してくる。

そして時には女性しか気がつかないアイデアも。

人を理解するのに性別や国籍、

障がいのあるなしは関係ない。

多様な人と過ごすなかで、

自分が成長するのだと思う。



違っていい。違うからいい。

「心のユニバーサルデザインの考えを持つ区民」

[2015年度] データなし ➡ [2020年度] 45% ➡ [2024年度] 50%

◎日常生活の中で高齢者・障がい者等の多様な人々に配慮していると思う区民

男、女にとらわれない。誰でも。

「男女が対等な立場で生活していると感じる区民」

[2015年度] データなし ➡ [2020年度] 40% ➡ [2024年度] 50%

◎日常生活の中で男女が対等な立場で意思表示や活動をし、責任を分かちあっていると思う区民

足立区の施策

- 人権啓発イベントでの普及活動を通じて、すべての人の人権が尊重される社会を実現します。
- 性別にとらわれない、多様な個性や生き方を互いに尊重しあうことができる社会を実現します。
- 女性のキャリアアップへの意欲の向上に加え、仕事と仕事以外の生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が図れる企業や団体、個人を応援します。
- 言語支援体制の強化や、外国語・文化交流ボランティアなどを充実させて、異文化理解を進めます。また、年々増加する区内居住の外国人のための情報提供や相談体制を充実させます。
- 「くらしの場づくり」「ものづくり」「ひとづくり」「サービスや情報づくり」「しくみづくり」の5つの視点で、ユニバーサルデザインの理解を深めるための取り組みを進めます。

施策を実現するための主な事業

- ユニバーサルデザイン推進事業
- ワーク・ライフ・バランスの推進事業

2025年の足立区。

区民、区役所、学校、事業所、警察など、地域一体となった治安対策で、犯罪者を寄せつけないまちが実現しています。

2025 image

大切なひとをまもる。 みんなでまもる。

治安が悪いという話も聞いていたけど、
犯罪件数はピーク時の4分の1にまで減っていて
暮らしていて治安が悪いと感じたことは一度もない。
子どもはまだ小さいが、
近所の人々が声をかけてくれて、
まちの人の目が常にあるので安心だ。
うちの近くは、掃除する人、
家の前で花を育てる人もいて、
いつも通りがきれいだ。
自分も近隣のごみを拾ってまちをきれいにしようと思う。
きれいなまちに犯罪者は来ないというけれど
それってほんとなんだな。



犯罪の少ないまち。

「区内刑法犯認知件数」

[2016年] 6,519件 → [2020年] 5,519件 → [2024年] **4,300件**
(低減目標)

安心して暮らせるまち。

「体感治安が良いと感じる区民」

[2016年度] 54.1% → [2020年度] 59.0% → [2024年度] **64.4%**

足立区の施策

- ビューティフル・ウィンドウズ運動の輪を広げ、防犯意識の高いまちをつくり、刑法犯認知件数を減少させます。
- 防犯パトロールの強化や防犯カメラの設置など、地域における防犯環境の整備を支援します。
- 地域の清掃や、まちを花で彩ることにより「美しいまちは安全なまち」を目指します。
- ごみ屋敷対策、不法投棄対策、放置自転車対策を進めます。早期発見と迅速な対応により、さらに「きれいなまち」を実現します。
- 食の安全・安心や消費生活、生活環境などを改善し、暮らしやすいまちをつくりまします。

施策を実現するための主な事業

- ビューティフル・ウィンドウズ運動（地域防犯力の向上、防犯まちづくり推進地区認定事業、美化推進事業）
- 生活環境保全対策事業（ごみ屋敷、不法投棄、放置自転車対策）

地球環境にやさしいくらし

環境負荷が少ないくらしを実現する

2025年の足立区。

かけがえのない地球環境を守るため、足立区で暮らし、働き、活動するすべてのひとが、環境について学び、自ら率先して環境負荷の少ない行動を選択して実践しています。

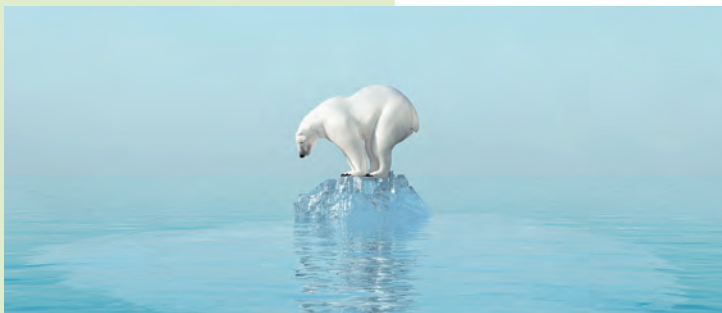
2025 image

私が住むこのまちは、
“地球にやさしいひとのまち”。

家ごみのなかに資源になるものがあると聞いたので、
捨てていた包み紙などを分別してみたら、
燃えるごみの量がぐっと減った。

風呂の残り水を洗濯に使ったり、
雨水を花壇の水やりに使ったり、
少し工夫すると水道代が減った。

地球にイイコトしていると、何だか気持ちがいい。
私ができることって、案外いろいろあるんだな。
財布も喜んで、きっと。



省エネで暮らそ。

「節電や節水など省エネルギーを心がけている区民」

[2015年度] 54.6% → [2020年度] 62.3% → [2024年度] 70%

ごみを減らそ。

「区民一人1日あたりの家庭ごみ排出量」

[2015年度] 561.1g → [2020年度] 510.1g → [2024年度] 470g
(低減目標)

足立区の施策

- 日常生活における省エネ行動、省エネ型設備・家電の利用、建築物の省エネ性能向上、再生可能エネルギー導入を促進します。
- 資源となる紙類や、まだ食べられる食品の廃棄物などの資源ロス削減に取り組むとともに、区民・事業者との連携による回収のしくみを整備し、資源化を促進します。
- 様々な事業者・団体が連携して、自発的に環境活動を実践するしくみづくりや自ら学び考え行動できる人材を育成します。
- 区民が、自然環境や生物とふれあい、理解を広められるよう、生物多様性に配慮した公園づくりや、身近な自然を活用した体験・学習プログラムの提供を行っています。

◎足立区では、2008年6月に「環境サミットin(イン)足立」を開催し、全ての区民、事業者、そして、国や全国自治体と手をたずさえて、高い志をもった「日本一地球にやさしいひとのまち」を築き上げることを通じて、地球温暖化防止に貢献していくことを宣言しました。

施策を実現するための主な事業

- エネルギー対策の推進（温室効果ガス排出削減）
- ごみの減量・資源化の推進
- 自然環境・生物多様性の理解促進事業
- 子どもの環境学習（キッズ ISO、環境スタートブックなど）

いつまでも健康で生きがいを持って暮らす

高齢者、障がい者などの生活のサポート体制を充実する

2025年の足立区。

地域で区民が互いに支えあうしくみが整い、生きがいや交流の場が広がっています。
高齢者や障がい者が、住み慣れたまちで、笑顔で安心して暮らしています。

2025 image

高齢者や障がいをもつ人が、安心して暮らし続けられるまちって、素敵だと思う。

母は、転んでけがをしてから、
家に閉じこもるようになった。

急激に体力が落ちていくので心配になって、
近くの地域包括支援センター※に飛び込み、相談したら、
介護予防体操教室に誘ってくれた。

通うようになって母の体調はめきめき回復、
お友達もできた。

センターのスタッフはとても親切で、
何かあったら相談できることがわかって心強い。
このまちなら、歳をとっても安心して暮らせる気がする。



孤立ゼロプロジェクト

高齢者が相談できる場所がある。

「地域包括支援センターの相談・支援件数」

[2015年度] 71,466件 ➡ [2020年度] 91,210件 ➡ [2024年度] 110,867件

集える場所がある。

「サロンやサークルなど、地域の高齢者が新たに参加できるようになった集いの場の数」

[2015年度] 0ヵ所 ➡ [2020年度] 100ヵ所 ➡ [2024年度] 200ヵ所

足立区の施策

- 介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、地域で高齢者を支える地域包括ケアシステム※を構築します。
- 障がい者がライフステージに応じた支援を受けられるよう、障害者差別解消法に基づき、対策を講じていきます。
- 介護保険事業を支える事業者の人材確保・育成を支援するとともに、元気な高齢者がサポートの担い手として活躍できるしくみづくりを進め、介護保険制度の適切な維持を図ります。
- 福祉事務所やくらしとしごとの相談センター※をはじめとした関係機関が協力し、サポートを必要とする人に支援が行き届くようにします。

施策を実現するための主な事業

- 地域包括ケアシステムの推進
- 介護予防事業（パークで筋トレ・ウォーキング教室、はつらつ教室、はじめてのらくらく教室）
- 孤立ゼロプロジェクト推進事業

※地域包括支援センターとは？

高齢者とその家族を様々な面からサポートする「高齢者の総合相談窓口」。平成30年3月現在、区内に25ヶ所あります。

※地域包括ケアシステムとは？

住まい・医療・介護・予防・生活支援などのサービスが一体的に提供されるしくみ。

※くらしとしごとの相談センターとは？

仕事・生活・家庭・こころの問題など、様々な悩みを抱えている方のための区の総合相談窓口です。

2025年の足立区。

健康に関心の高い人も、そうでない人も、住んでいるだけで自ずと健康になるまちになっています。いざというときに安心して受診できる医療体制が整備されています。

2025 image

住んでいるだけで、健康になっちゃう。
そんなまち、このまちだけだね。

このごろなんだか野菜をたくさん食べるようになった。

息子がよく「給食がおいしかった」と話すので、
クックパッドの「東京あだち食堂」サイトを見て
料理するようになったせいかな。

息子も料理に興味を持って、
もやしの味噌汁なら自分で作れるようになった。
外食もするけど

「ベジタベ協力店」と書かれたお店が多くて、
美味しそうなのでついつい野菜メニューを選ぶ。
最近聞いたんだけど、足立区に住んでる人って
健康で長生きしてる人、多いみたいよ。



あだちベジタベライフ
事業ロゴマーク



野菜で健康。

「区民の1日あたりの推定平均野菜摂取量」

[2015年度] 233g → [2020年度] 280g → [2024年度] 320g

自分のからだをチェック。

「特定健康診査の受診率」

[2018年度] 47% → [2020年度] 53% → [2023年度] 60%

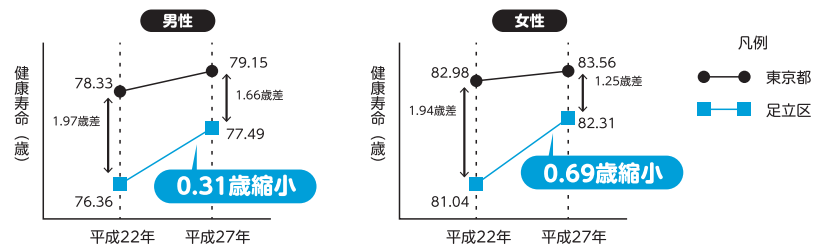
(足立区国民健康保険第三期特定健康診査等実施計画)

足立区の施策

- 生活習慣病予防に力を入れ、区民の健康寿命を延ばします。
- 栄養バランスの良い食事を「選び・作り・食べる」習慣を、区民一人ひとりが自然と身に付けられる環境を整えます。
- どのような検診が受けられるのか、わかりやすく案内し、受診しやすい環境を整えることで、病気の早期発見や早期治療につなげます。
- これまでの休日応急診療事業等は引き続き実施しつつ、安心できる地域医療の実現に向けて、東京女子医科大学東医療センターの移転等に取り組みます。

平成22年～27年の取組みの成果

区民の健康寿命が延伸し、都平均との差が縮小



【出典】厚生労働科学研究「健康寿命の算定プログラム」により、0歳の平均自立期間を区が算出

施策を実現するための主な事業

- データヘルス推進事業
- 健康あだち 21 推進事業（糖尿病対策）
- 大学病院の誘致

2025年の足立区。

燃えない、燃え広がらない、大雨にも慌てない、安全に避難できるまちが広がっています。

2025 image

地震も水害も火災も…
こわくない、大丈夫と思えるまちに。

日本はもちろん世界各地でいろいろな災害があるが、
今できる限りの準備はしているつもりだ。

日常備蓄※も実践している。

町会にも入ってご近所とも親しくしてるから

いざという時も心強いし、

区が発行している防災マップ&ガイドや

洪水ハザードマップを読み込み、

もしものときに家族がどこに避難するのか、

シミュレーションもしている。

区の補助金を活用して自宅の耐震化も済ませた。

近隣には木造の家や路地も多いが、

延焼を防ぐ対策が少しずつ進められているそうだ。



中学生消火隊

※日常備蓄：普段使っているものを少し多めに備えること。

地震が起きても倒れない。

「住宅の耐震化率」

[2015年度] 83% ➡ [2020年度] 95% ➡ [2025年度] 概ね達成

たとえ火が出ても燃え広がらない。

「木造住宅密集地域に指定したエリア内の不燃領域率」※

[2015年度] 58% ➡ [2020年度] 70% ➡ [2024年度] 72%

いざという時のために準備は万端。

「災害に備えて水や食料等を備蓄している区民」

[2015年度] 68% ➡ [2020年度] 71% ➡ [2024年度] 74%

「足立区洪水ハザードマップを見て自宅周辺の状況を理解している区民」

[2015年度] 16.8% ➡ [2020年度] 35% ➡ [2024年度] 50%

足立区の施策

- 建物の耐震化や老朽危険家屋等の解消を進めます。
- 延焼遮断帯の形成、細街路整備による避難路の確保、建物の不燃化などを進め、木造住宅密集市街地を改善します。
- 区民消防隊や区民レスキュー隊などの防災区民組織と力を合わせ、災害に備えます。
- 避難所におけるプライベートスペースや更衣室確保等施設利用計画などの避難所運営に男女双方の視点を活かすため、女性防災士の育成に力を入れます。
- 近年多発している豪雨災害や記録的降雨被害に備えて、各河川のタイムライン（事前防災行動計画）の策定を国や都の河川管理者に要望します。

施策を実現するための主な事業

- 防災力向上事業（防災訓練・防災計画）
- 防災まちづくり事業の推進（密集市街地整備・不燃化促進・細街路整備）
- 建築物減災対策事業

※不燃領域率とは？

市街地の“燃えにくさ”を表す指標のことで、建築物の不燃化や道路、公園などの空地の状況から算出します。70%を超えると市街地の延焼による焼失率はほぼゼロとなります。

2025年の足立区。

区民も区外からの来街者も、歩行者も自転車も、誰もが安全・快適に利用できる交通環境が整備されています。道路環境の整備やバスネットワークの充実により、公共交通が利用しやすくなっています。

2025 image

あだちって、交通が不便だね？
いえいえ、それは昔の話です。

つくばエクスプレスや

日暮里・舎人ライナーもあるし、

コミュニティバス「はるかぜ」を使いこなすと、

けっこう便利で、いろいろなところへ行ける。

坂がないので区内は自転車が便利で、

晴れた日は気持ちいい。

駅前からは、レンタサイクル「あだチャリ」もある。

北千住駅まで出れば鉄道路線も多くて

都心へのアクセスが抜群に便利。

暮らしやすいなあ。足立区。



日暮里・舎人ライナー



はるかぜ

行きたいところに行きたいときに。

「公共交通を利用しやすい地域」

[2015年度] 94.3% ➡ [2020年度] 96.6% ➡ [2024年度] 97.9%

◎駅から半径1km圏内またはバス停留所300m圏内の面積の割合

ベビーカーや車椅子も移動しやすいまち。

「無電柱化推進計画の対象路線で取り組み始めた道路」

[2015年度] 11.3% ➡ [2020年度] 18.3% ➡ [2024年度] 23.8%

足立区の施策

- 快適な交通環境の実現を目指し、都市計画道路等の整備を推進するとともに、まちづくりと連携し、鉄道やバス路線網の充実を図ります。
- 視線をさえぎる電柱や電線をなくして、美しいまちなみを創出します。
- 道路のバリアフリー化を進めます。誰もが安全で歩きやすいまちをつくれます。

施策を実現するための主な事業

- 交通環境の改善事業（都市計画道路及びバス・自転車走行環境の整備）

住みたい、住み続けたいまち

地域の特性を活かしたまちづくりを進める

2025年の足立区。

地域ごとの個性や特性と調和の取れた、若い世代も魅力を感じる住まいの供給が広がっています。身近な場所で水や緑にふれあい、親しむことのできるやすらぎの空間にあふれています。

2025 image

一人ひとりに個性があるように、
まちにも様々な生活スタイルがある。

このまちが好きだ。

物価が安くて交通の便がいいのも魅力だけど、
まちの風景もいい。暮らすほどに魅力を感じる。

江戸時代からある神社の境内は落ち着くし、
うちの近くの公園は四季折々の花がきれいで、
このごろ定番の散歩コース。

途中にあるカフェもお気に入りだ。

ほかのまちとはちょっと違うこのまちで暮らし続けたい。



このまちに住み続けたい。

「住環境に満足している20～30歳代の区民」

[2015年度] データなし ➡ [2020年度] 52% ➡ [2024年度] 55%

私の好きな公園がある。

「『お気に入り』の公園がある区民」

[2015年度] 42% ➡ [2020年度] 44% ➡ [2024年度] 46%

足立区の施策

- 鉄道駅における拠点機能の充実を図るとともに、エリアデザイン※ 地区において大学や病院の誘致など大型プロジェクトを着実に推進していきます。
- 区民が公園等で身近な自然とふれあう機会を増やすなど、魅力ある地域の公園づくりを進めます。
- 様々なライフスタイルやステージに応じた良質な住宅供給や良好な住環境を形成していきます。

施策を実現するための主な事業

- エリアデザインの推進
- 緑の普及啓発事業
- 公園等の整備事業（パークイノベーションの推進等）



※エリアデザインとは？

「まち×デザイン＝未来」を合い言葉に、活用可能な区有地等が発生する「綾瀬・北綾瀬」「六町」「江北」「花畑」と「千住」「西新井・梅島」「竹の塚」の7つのエリアでのまちづくりの方針を示して、民間による拠点開発を戦略的に誘導しています。その結果、花畑エリアには文教大学が、江北エリアには東京女子医科大学東医療センターの移転が決定しています。

2025年の足立区。

創業や経営革新に向けた支援の充実とともに、区内六大学や金融機関などとの協働・協創による産学金公が連携した取組みが活性化しています。若者の就労準備支援などにより、働きたい人すべてが仕事に巡り合い、いきいきと働けるまちになっています。

2025 image

創業したいまち。創業できるまち。 創業するなら足立区で。

足立区の「独立・起業セミナー」に参加した。
子育て中だから少し悩んだけど
セミナーで起業の基本を学んで、やれる気がした。
資金計画は区の中小企業診断士が協力してくれた。
リスク少なく融資を受けることができた。
区の創業支援施設の一室を借り、起業。
足立区は創業支援策がとても充実していて、
一番不安なスタートダッシュを心強く支えてもらった。
このまちで、がんばろうと思う。



野菜のカフェをオープンさせた区内の女性起業家

足立ならチャレンジできる。

「足立区で新たに創業した法人」(年間)

[2015年] 821社 → [2020年] 960社 → [2024年] 1,030社

足立なら仕事を見つけられる。

「就労準備の支援が必要な若者の就職数」

[2015年度] 156名 → [2020年度] 200名 → [2024年度] 200名

(あだち若者サポートステーションの進路決定者数)

足立区の施策

- 創業や経営革新のための相談事業や各種補助金事業などを充実させます。
- 企業の技術力向上や新たな事業の創出のために、大学の知識や技術力を活かした産学公連携事業を推進します。
- 地域経済の活性化のために、区内関係団体との連携を進めるとともに、経営革新に取り組む事業者や創業者のネットワーク化を図ります。
- 若者の就労準備支援、ひきこもり対策、雇用・生活相談などを、国、東京都、NPO法人などと連携して進めます。

施策を実現するための主な事業

- 創業支援事業（産学金公ネットワークによる起業・創業支援）
- 販路拡大支援事業（区内産業・製品のPR）
- 就労支援・雇用安定化事業（区内企業の人材確保支援等）
- 就労準備支援事業（無料職業紹介等）

2025年の足立区。

足立区に住む人、足立区で働く人など、足立区に関わる人々が、それぞれの力を出し合い地域課題を解決するまちづくりが進んでいます。

2025 image

まちをつくるのはわたし。
自分の住む、大好きなまちに関わって暮らす。

サラリーマンのお父さん、とっても明るいお母さん、
元気マンマンの子どもたち。
まちにはいろんな人がいるけれど、
知り合いが増えると楽しいし、このまちがもっと好きになる。
先日の大雪のときは、
町会の人たちと一緒に家の前の雪かきをした。
まちに関わることは意外と楽しい。
自分の住むまちが、
もっと住みやすく、もっと楽しくなってほしいから、
このまちで自分ができることはしたいと思う。
楽しいことも、難しいことも、みんなと一緒に。



地元出版社が主催の地域の魅力を語り合うトークイベント



大好きなまちに関わりたい。

「町会・自治会加入世帯率」

[2015年度] 54.8% ➡ [2020年度] 60% ➡ [2024年度] 60%

地域課題の解決に関わりたい。

「協働・協創に関わっている区民」

[2015年度] データなし ➡ [2020年度] 15% ➡ [2024年度] 25%

©協創の仕組みを理解し、かつ協働・協創による取組みを実践している区民

足立区の施策

- これまで進めてきた行政主導の協働に加えて、区民等が自らが主体となり地域課題を解決する協創を展開していきます。
- 地域の課題を自分の課題として考え行動する人を増やすとともに、次世代のリーダーを育成します。
- 今ある力と新しい力をつなげます。みんなが集まる協創プラットフォーム（場や機会）をつくり、地域の課題に対する解決策や新たな魅力を生み出していきます。
- 協働・協創の主体となりうる町会・自治会やNPO法人等を支援していきます。

施策を実現するための主な事業

- 協創推進体制の構築
- NPO・区民活動支援事業
- 町会・自治会の活性化支援

信頼される区政運営

戦略的かつ効果的な行政運営と情報発信を行う

2025年の足立区。

各種電子媒体（ホームページ、A-メール※、SNSなど）情報の受け手の特性や傾向にあわせてきめ細やかな情報発信ができています。多くの区民が知りたいと思う区政情報をいつでも手に入れることができます。

2025 image

よくわかる区政。
納得できる区政。

都心の企業に勤めているせいか、昔は区役所は遠い存在に感じたけれど、足立区の Facebook をフォローするようになって今は身近に感じる。広報紙を読むのも楽しみで、子どもたちが参加したいイベントも多いし、健康、治安に関する政策にも共感できる。区から言われたからというわけでもないが、「一口目は野菜から」食べることは大事にしているし、安全安心のためにも、自分の住むまちをきれいにしたいと思う。



足立区いいね。

「効率的な行政サービスが進められていると思う区民」

[2015年度] 48% ➡ [2020年度] 48% ➡ [2024年度] 50%

◎行政改革に関する満足度

よくわかる足立区。

「必要なときに必要とする情報が得られていると思う区民」

[2015年度] 67.5% ➡ [2020年度] 70% ➡ [2024年度] 75%

足立区の施策

- 紙や電子などの情報発信媒体を充実させ、区民がそれぞれのライフスタイルに応じて必要な情報を得られる環境を整えます。
- 効果的、効率的な区政運営を進めるため、組織・定数管理を行い、行政サービスの質を落とさずに、多様化、複雑化する行政ニーズに対応します。
- PDCAマネジメントサイクル※により、事業の見直しや改善に取り組みます。

施策を実現するための主な事業

- 行政評価事務
- 情報発信強化事業（各種広報媒体の充実・情報発信力の向上等）
- 区民意識調査事業（世論調査・区政モニター制度等）

※A-メールとは？

区政情報や子どもの安心情報など、足立区についての様々な情報を、あらかじめ登録された携帯電話やパソコンのメールアドレス宛に送る足立区のメール配信サービス。

※PDCAマネジメントサイクルとは？

計画（プラン：P）、実施（ドゥ：D）、評価（チェック：C）、改善・改革（アクション：A）という作業を継続的に循環させて業務改善をしていくこと。

区の魅力を高める

区のイメージを高め、定住者や来街者をふやす

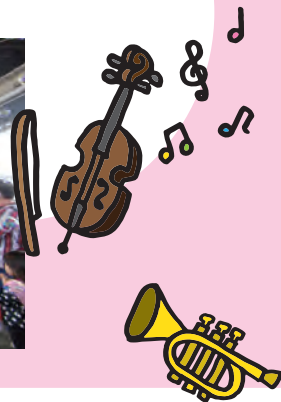
2025年の足立区。

「足立区が好き」「足立区に住んで良かった」と胸を張って言えるたくさんの人がある。一人ひとりの「足立区が好き」という想いが、じわじわと区内外に伝わり、「あだちって、いいね」と言われるまちに成長しています。

2025 image

住んでよかった。
住みたいまち足立。

家賃が安いという理由で引っ越してきたけれど、
このごろこのまちが気に入っている。
大学が6つもあるし、
万が一のときに行ける大学病院もある。
都心へのアクセスが良いのに、郊外のように緑も多い。
荒川土手もいい。足立の花火や A-Festa も楽しいが、
一風変わったアートイベントも新鮮で、ちょっとワクワクする。
いつも何か楽しいことが起こるまちだなあと思う。
最近は気がつくと、友人にまち自慢をしてしまう。
カフェを開くのが長年の夢だが、
はじめてみようかな。このまちで。



このまちが大好き。
「足立区に『愛着がある』と思う区民」

[2016年度] 75.4% ➡ [2020年度] 78% ➡ [2024年度] 80%

このまちを自慢したい。
「足立区に『誇りを持っている』と思う区民」

[2016年度] 51.4% ➡ [2020年度] 55% ➡ [2024年度] 60%

足立区の施策

- 足立区に根強く残るマイナスイメージをイメージアップ戦略によりゼロベースに戻し、プラスに引き上げます。
- 「住んでみたい」「住み続けたい」「人に勧めたい」と思えるように、地域の魅力を発掘し、その魅力を磨き上げ積極的に発信します。
- 様々な区民や事業者、組織や団体と積極的に連携して、区だけではできない新しい魅力を創出していきます。
- 区民の想いを受けとめて、ともに考え実行し、区の魅力を高めていきます。

施策を実現するための主な事業

- シティプロモーション事業

持続可能な財政運営

次世代につなげる健全な財政運営を行う

2025年の足立区。

収入と支出、貯金と借金のバランスを適正に管理し、経済情勢の変動による財源不足や、災害発生による緊急な支出が必要となった場合でも、十分に対応できる柔軟な財政運営を実現しています。

2025 image

行政の財政運営は、家計のやりくりです。
子どもたちの未来に、健全な財政基盤を。

区の財政状況をよく見てみると、

限られた予算を、有効に使ってくれているので、

区民として、納得できる。

将来を見越した財政運営ができるまちなら、

子どもたちが大きくなるまで、そして老後も、

このまちで暮らしていきたいと思う。



「経常収支比率」※

[2015年度] 75.8% → [2020年度] 80%以内 → [2024年度] 80%以内

「実質収支比率」※

[2015年度] 4.1% → [2020年度] 4.5% → [2024年度] 4.5%

※経常収支比率とは？

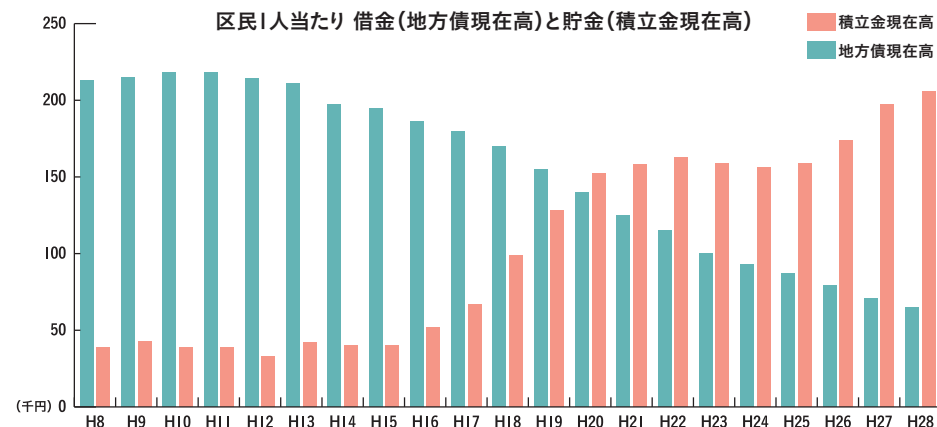
家計に置き換えると、定期的に入ってくる収入（給与等）に対する、必ず支払う経費（家賃、光熱水費等）の割合を示したもので、財政構造の弾力性を測定する指標です。70%から80%が適正な水準と言われています。

※実質収支比率とは？

自治体の財政規模に対する黒字の割合。3%から5%が適正な水準と言われています。

足立区の施策

- 区の財政も家庭と一緒に、将来を考えて、計画的に貯金や借金をすることが重要であり、将来負担と財政収支のバランスがとれた持続可能な財政運営を進めます。
- 収入の確保のため、税・保険料等の適正な賦課・徴収及び厳正的確な滞納整理により収納率を向上させます。



おわりに。

協創で足立を変える。

行政だけがどんなにがんばっても、まちは変わらない。
でも、まちを大切に想う住民や企業はたくさんあって、
その想いは行政の想いと同じだ。
それなら、ばらばらに取り組んできた活動を、
少しの工夫で「つなげ」てみれば、
まちの課題解決に大きな一歩を踏み出せる。

行政と民間の垣根を越え、
一緒に地域課題に臨む『協創』は、
2017年（平成29年）4月にスタートした
「足立区基本構想」のキーワード。

つながり、変えよう。足立を。
もっと暮らしやすい、住み続けたいまちへ。

「協創」は、
足立区をもっともっといいまちにするための
エンジンです。

2025年の足立区を知る16のはなし。

発行／足立区
東京都足立区中央本町1-17-1
03-3880-5111(代)

編集／足立区 政策経営部 政策経営課
発行年月日／平成30年3月
登録番号／29-2437

おわりに。協創で足立を変える。42

2025年の足立区を知る16のなし。

